

西谷自治会連合会ニュース

発行：西谷自治会連合会

平成 28 年度 事業報告

「これからの西谷をより良い地域にしていくにはどうかすれば良いのか」を常に問いかけながらの事業運営でした。

少子高齢化問題は西谷地域だけでなく、日本中全てが共通に抱えている深刻な問題です。人口維持・増加のためには、他の地域より魅力的でなければなりません。

昨年 8 月に住民意識調査報告書が完成し報告会を開催しました。回収率が 93% で、全ての住民のふるさと西谷への思いが集約され「自然を活かし・人口増加を図り・賑わいづくりを進め・人々が心身共に健康で安心に暮らせるまち」の実現に向けて、以下の重点課題について協議を行ないました。

- ① 西谷ビジョン協議会
宝塚北部地域整備対策協議会を改め西谷ビジョン協議会として、地域振興に向けた協議、提案及び活動を行なってきました。住民意識調査を基本理念とし、多岐にわたる課題について協議を行ないました。
- ② 新名神高速道路 関連道路における通過交通対策 住民の安全・安心を確保
地域要望として、県・市警察へ要望書を提出し、道路の維持管理については関係部署へ要望しました。
- ③ 有線放送設備の撤去事業及び西谷ふれあいメールの立上げ普及
昨年四月より設備撤去事業を開始し、十二月完了しました。有線終了後、西谷ふれあいメールを立ち上げ、現在の加入戸数率は約 67% です。
- ④ 西谷全域での防災訓練の実施
八月二十一日に避難所を開設し、夢プラザ周辺での救命講習、土嚢積み訓練を実施し、三月五日には西谷小学校体育館に指定避難所を開設し、簡易ベッドの組立、炊き出し訓練等を行ないました。
- ⑤ 西谷地域ささえあい会議
上期には、「災害時の要援護者支援」ハザードマップの作成等の議論、届出避難所の開設 下期には、西谷地域包括支援センターの相談についての議論を行ないました。
- ⑥ 環境保全対策
昨年五月に、不法投棄防止ネットフェンスの設置、十一月には研修会の開催、又不法投棄監視カメラ三台が新規に設置され、看板も新しく製作・設置しました。



- ⑦ 県の「北摂里山博物館構想」との運動
本年度も、里山の植生観察に適しているという観点から「猪ノ倉里山まつり」を開催しました。今年も継続していくことで、より多くの方に参加していただきたいと思ひます。
- ⑧ 一般財団法人「西谷自治振興」との連携
猪ノ倉里山祭り、里山保全 合同視察研修等、緊密に連携しながら地域振興を図りました。
- ⑨ 収穫祭への協力
西谷のおもてなし、農業振興、市街地住民との交流の意味で、地域あげての行事として協力しました。
- ⑩ 西谷公共交通会議
昨年八月の会議報告書を受けて、十二月から四回の会議が開催され、既存路線バスの維持改善のため、効率的なバス路線再編を目指し、継続して取り組むことが確認されました。
- ⑪ 宝塚市北部地域土地利用検討会
十月より三回の会議が開催され、土地利用の弾力化についての方針が示され、調整区域の規制緩和の検討について議論を行ないました。今後も地元説明会等を経て協議を行ないます。
- ⑫ 宝塚自然の家リネオリアルオープンに向けて
昨年七月、市からリネオリアル方針の説明会があり、今後も地元と協議していくことが確認されました。しかし、市側の作業が進捗せず、西谷住民を中心にワーキンググループを結成し、活動メニューを提案する事に決定しました。

平成 29 年度 自治会連合会名簿



四月二十三日
総会開催

役 職	自治会名	会長名	役 職	自治会名	会長名
副 会 長	上佐曾利	福本 昭夫		波 豆	小谷 互
	下佐曾利	二井 久和	副 会 長	境 野	大上 修
	長 谷	小畑 健二		玉 瀬	中間 俊彦
	鶴見台	奥田 正明		大岩 谷	濱田 裕一郎
	東 部	岡田 幹夫		切 畑	和田 秀彰
会 計	中 部	龍見 正範		武田 尾	久保田 伸幸
会 長	西 部	西田 均			

平成 29 年度 事業計画について

- ① 西谷ビジョン協議会
まちづくり協議会や行政とも連携し、自然の魅力・人口増加につなげるように話し合います。
- ② 北部地域土地利用検討会
市街化調整区域の緩和策を行政と検討・連携し、人口増加につなげるように話し合います。
- ③ 地域ささえあい会議
高齢化の進む中、見守り活動を充実させるため、諸団体と連携して話し合いを持ちます。
- ④ 公共交通対策会議
便利な公共交通の実現に向けて話し合い、長期的な交通に関する協議を行なっております。
- ⑤ 不法投棄未然防止協議会
環境保全のために、引き続き活動に積極的に取り組んでまいります。
- ⑥ 防災対策
防災意識を高めるため、西谷全体での防災訓練を繰り返し実施します。
- ⑦ 通過交通対策
新名神の開通や、関連道路の整備における通過車両の増大から、住民の安全・安心を確保するため、歩道整備の促進や、県道・市道の維持管理を要望してまいります。
- ⑧ 一般財団法人「西谷自治振興」との連携
引き続き、連携を緊密にとり里山保全、地域振興を図ってまいります。

